

(平成 26 年 11 月試験研究業務月報)

タスクチーム活動課題：飼料用米栽培（施肥診断）・保存新技術の普及

情 報

飼料用米増産に向け地域検討会を開催

タスクチーム活動として取り組んでいる飼料用米の多収栽培技術の普及や今後の活動方策について、府内 3 地域で、飼料用米栽培農家などを対象に地域検討会を開催しました。

平成 26 年度の栽培実績などの報告を受けて、栽培農家からは今後の需要見込みや、保管や流通に関する課題などの意見が寄せられ、飼料用米増産への意向が窺えました。

今後、府内の飼料用米栽培農家の施肥方法や作業時期に関する全戸調査を行い、平成 27 年度からのさらなる増産に向けた支援を行うこととしています。

※タスクチーム活動：研究機関と普及組織等の総合力を発揮し、生産者を伴走支援することで現地課題を早期に解決する活動



中丹地域検討会（11月18日）



南丹地域検討会（11月18日）